

1 単 元 京都・奈良の歴史を調べよう

2 情報活用能力育成に関する目標

読む人が興味をもつような見出しや記事を考え、それをグループで交流し、練り直すことにより、より伝わりやすいパンフレットをつくることができる。

3 情報活用能力の高まりを検証する場面と方法

パンフレットの記事作成や見出し作成などの場面で、最初に個人で作ったものと、グループでの意見交流をもとに練り直したものとを比較する。

4 情報活用能力の高まりにより期待される効果

グループで意見交流し、意見交流でのアドバイスをもとに練り直すことで、読む人により分かりやすく伝えるにはどうすればいいのか、考えを深めることができる。

5 実践の様子

伝えたい情報を、相手が興味をもつように、分かりやすく発信できる子どもを育てるために構想図のような指導の流れを考えた。

まず、「つかむ」段階では、学習課題踏まえて目標を設定する。次に、「集める」段階では、課題に対して、解決するために必要な情報を集める。そして、「加工・整理する」段階では、それぞれの学習場面において、より良いものを作成するために、再構成する手立てを講じる。さらに、「発信する」段階では、作成したものを読み合い、相互評価をする。最後に、「ふりかえる」段階では、相互評価の結果を基に、今後の改善点を考える。そして、次の手立てを考えた。

見出しコンテスト

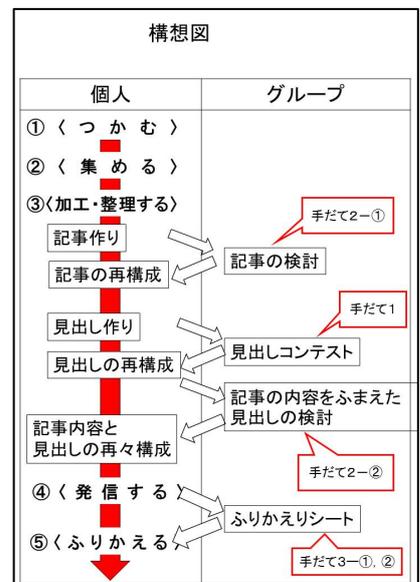
相手が興味をもつ見出しを考えるために、一つの記事に対して複数の見出しを考え、友達同士で見合い、付箋で投票する。そして、友達の見意見を参考に自分の見出しを見直す。

グループ交流

伝えたい情報をより分かりやすく発信するために、グループで見出しや記事を読み合う。そして、それぞれの観点に沿って、付箋に良かったところや直すと良くなる場所のアドバイスを記入してグループ交流をする。そして、友達の見意見を参考に自分の記事内容や見出しの再構成をする。

ふりかえりシート

観点別にチェックする項目を設けたふりかえりシートで相互評価をすることにより、達成感を感じたり今後の改善点を考えたりする。



2学期の始め、「修学旅行で行く京都・奈良の歴史的建物や文化遺産についてそれぞれが調べ、パンフレットにしよう。」と子どもたちに提案した。そして、総合的な学習の時間にパンフレットづくりに取りかかった。

それぞれ担当する建物や伝統文化などを修学旅行用の調べ学習の本やガイドブックを見て、情報をメモしていった。また、寺の公式ホームページを見て必要なところを印刷して資料として集めていった。

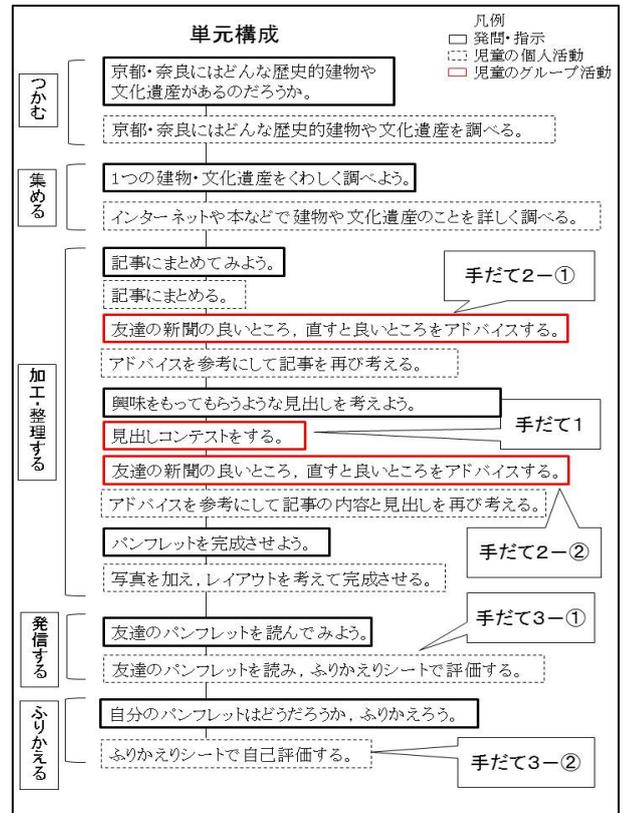
集めた資料の中から、自分が伝えたいと思う箇所にマーカーで線を付けた。A児は、「金閣は臨済宗のお寺なんだ。」と、マーカーをひきながら資料を読んでいた。

また、資料が集まり始めたころ教師が記事を考える時のポイントを板書した。子どもたちはどんなことに気を付けたらいいのか、ポイントを意識しながら、マーカーで線をつけた箇所をもとに、記事の内容を考えた。

次に、記事が相手に分かりやすく伝わるか確認するため、お互いに記事を読み合うグループ交流を行った。良かったところを黄色い付箋に、アドバイスを桃色の付箋に書いていった。また、付箋には、なぜそう考えたのかという理由を合わせて書くようにした。こうすることで、改良を重ねていくときの参考になると考えたからである。

グループ交流の結果、A児には「金閣について分かりやすくまとめてあった」「修復時に5倍もの金箔が貼られて輝きが増したと、金閣の見どころが書いてあってよかった」などが良かったこととして書かれていた。一方、「臨済宗相国寺派の説明を入れてほしい。」「臨済宗相国寺派の意味が知りたい。」などのアドバイスがあった。A児は、「臨済宗相国派ってどうやって分かりやすくすればいいんだろう。」と、臨済宗相国寺派の意味を分かりやすく伝えるためにはどうしたらいいのか悩んでいた。

そこで、A児は、相国寺のホームページから宗派を調べ、読み手に分かりやすく伝えるための言葉を考えた。その結果、宗派の目指すものを「純粋な人間性を、座禅を通して自覚することを目指す宗派」と書き直した。さらに、教師が「もっと分かりやすくならないかな」と声を掛けると、「人間の素直な気持ちを、座禅することで自覚することを目指す宗派」と書き



**【資料10】 A児の集めた資料と考えた記事内容**

(1994年)にユネスコの世界遺産(文化遺産)「古都京都の文化財」の構成資産に登録されている。	鹿苑寺(ろくおんじ)は、京都市北区にある臨済宗相国寺派の寺。建物の内
---	------------------------------------

京都府京都市北区にある金閣は、臨済宗相国派の寺で  
 創建年は1397年室町幕府の真田中である。  
 金閣は、ユネスコの世界文化遺産に登録されている。他にも、原爆ドームや姫路城、厳島神社などがある。

**【資料11】 A児への友達からの評価**

よかったところ	アドバイス
金閣寺について分かりやすくまとめてあったと思いました。	臨済宗相国派の説明を少し入れてほしいと思いました。
よかったところ 三つの記事に金閣寺の見所が書いてあってよかった。	臨済宗相国派の意味が知りたい

**【資料12】 A児の記事の変容**

臨済宗相国派  
 ↓  
**純粋な人間性を、座禅を通して自覚することを目指す臨済宗の宗派**  
 ↓  
**人間の素直な気持ちを、座禅をすることで自覚することを目指す臨済宗の宗派**

直していった。分かりやすく書き直したこの文を、相国寺に確認して許可を得ると、A児はとても満足していた。

記事が完成した後に、見出しを考えた。考える前に、よい見出しとして、教師がポイントを板書した。

そして、常に観点のポイントを意識できるように、ワークシートの上の方に書いておいた。

A児は、見出しを考える時のポイントを確かめながら、二つの見出しを考えた。1つ目は、金閣はユネスコの世界文化遺産に登録されたという理由から「金閣は世界へ」という見出しである。2つ目は、室町時代につくられた一番有名な建築物だからという理由から「室町の光」という見出しである。

相手がどちらの見出しに引き付けられるのかを知るために、見出しコンテストを行った。今回は、ただ付箋をはるだけでなく、その見出しを選んだ理由も記入することにした。

すると、A児の見出しには「なぜ世界へ」なのか気になるという理由で、「金閣は世界へ」に票が多く入った。

A児は初め、「室町時代につくられた一番有名な建築物だから」という理由で「室町の光」という見出しにするつもりだった。しかし、「自分の伝えたいことも捨てがたいし、みんなの意見もわかるな。」と悩んだ結果、2つの見出しを合わせ、「室町の光は世界へ」という見出しを新たに考え出していった。

見出しを決めた後、統合ソフトに記事と見出しを入力し、グループ内で読み合いをした。そして、グループ交流では、良かったところ黄色い付箋に、直すと良くなるところのアドバイスを桃色の付箋に見出しの観点のポイントに沿った理由を記入して意見交流をした。

グループ交流でA児には、「見出しにとってもひきつけられる」とか「キーワードにしぼってあって良かった」など、観点のポイントに沿った良かったところがいくつかあげられていた。

また、「見出しの『室町の光』を文にもっと表した方が良い」と、「記事の内容がきちんと分かる」という見出しの観点のポイントについてのアドバイスも友達からもらっていた。

これを受けてA児は、「見出しの内容をもっと分かりやすくした記事にするにはどうしたらいいんだろう。」と、記事の内容に見出しの言葉を加えて書くようにした。

そこで、「室町の光」という見出しの言葉を「室町時代を代表する金閣」という言葉にし、「世界へ」という見出しの言葉を「金閣がユネスコの世界文化遺産に登録された理由」と分け、記事に書き加えた。

練り直した記事と、写真を加え、レイアウトを考えてパンフレットは完成した。

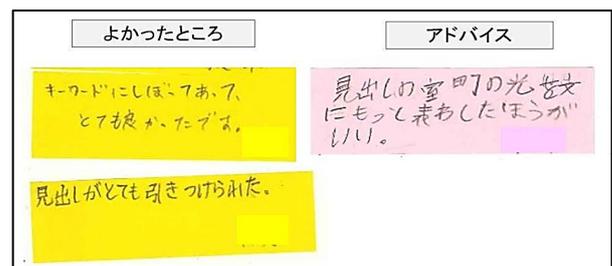
完成したパンフレットをグループ内で読み合い、振り返りシートを使って、それぞれの作業の観点のポイントをもとに評価をした。

そして、A児のパンフレットを読んだ子どもは、「『室町の光は世界へ』ってこういうことだったんだ。」と、工夫された見出しと分かりやすい記事に興味をもって読んでいた。

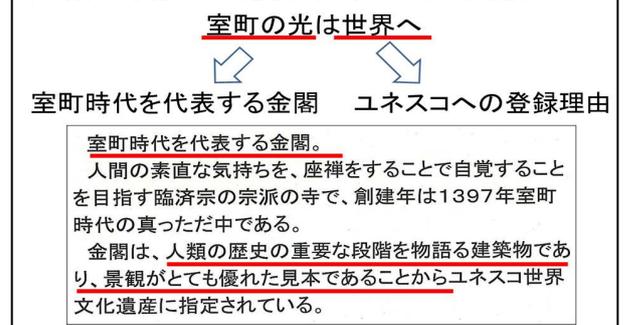
【資料14】見出しコンテスト



【資料15】A児への友達からの評価



【資料16】見出しの内容を加えて分かりやすくした記事



実践の最後に、振り返りシートで自己評価をした。A児は、実践1ではできなかった「見出しと記事の内容が合っている」ができたに評価をすることができた。

A児は友達からの高評価の振り返りシートと自己評価の振り返りシートを見て、「とても分かりやすいパンフレットができたよ。」と満足な様子だった。

【資料17】A児のふりかえりシートの一部

(見出しを作るときに、どんな工夫ができましたか?)	
<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 文を短くする。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> キーワードにしぼる。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 相手を引き付ける言葉を使う。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 記事の内容がきちんと分かる。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 見出しと記事の内容が合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> ずばらしい・・・4つ</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> よくできている・・・3つ</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> あと一歩・・・2つ</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> がんばろう・・・0～1つ</li> </ul>

【資料18】A児の他者評価	巨児のA児に 対する評価	C児のA児に 対する評価	D児のA児に 対する評価	巨児のA児に 対する評価
紹介文の内容に次のことが書けていますか?				
・紹介されている場所(もの)がどんな場所(もの)か書いてある。	0	0	0	0
・紹介されている場所(もの)の見どころが書いてある。	0	0	0	0
・見どころ(できごと)の理由や原因が書いてある。	0	0	0	0
・分かりやすくまとめている。	0	0	0	0
・意味がよく分からない言葉や読めない漢字はないか。	0	0	0	0
・文末はあっているか。	0	0	0	0
見出しは次のことができていますか?				
・文を短くする。			0	
・キーワードにしぼる。	0	0	0	0
・相手を引き付ける言葉を使う。	0	0	0	0
・記事の内容がきちんと分かる。	0		0	0
・見出しと記事の内容が合っている。	0	0	0	0

## 6 成果と課題

- 情報を集めるときに、マーカーで線を引くことによって、自分が伝えたいことは何なのかしぼることができた。
- 活動ごとに、良い表現の観点(判断基準)をはっきりさせたので、一人一人が観点を意識してパンフレット作りに取り組むことができた。
- 観点ごとに判断基準を意識してパンフレットを作成したので、振り返りシートでの自己・他者評価では高い評価を得ることができた。
- 記事の内容と見出しのグループ交流に時間をとられ、レイアウトの場面でのグループ交流がしっかりとできなかった。